

公益社団法人 地盤工学会  
平成23年度 第4回技術普及委員会  
議事録

|           |                            |   |    |       |   |     |             |   |
|-----------|----------------------------|---|----|-------|---|-----|-------------|---|
| 日時        | 平成23年10月25日(火) 10:00～13:00 |   |    |       |   | 会場  | 地盤工学会地階A会議室 |   |
| 委員長       | 村田 芳信                      | ○ | 幹事 | 秦 樹一郎 | × | 幹事  | 渡邊 康司       | ○ |
| 委員        | 王 林                        | ○ | 委員 | 栃尾 健  | × | 委員  | 長屋 淳一       | ○ |
| 委員        | 野末 康博                      | ○ | 委員 | 山川 優樹 | × | 委員  | 山中 捻        | ○ |
| 委員        | 林 豪人                       | ○ | 委員 | 辻村 崇  | ○ | 委員  | 後閑 勇        | × |
| 委員        | 喜多川 俊介                     | × | 委員 | 松本 幸久 | ○ | 事務局 | 廣松 さおり      | ○ |
| ○:出席 ×:欠席 |                            |   |    |       |   |     |             |   |

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (資料-1)  
辻村委員が指名された。
2. 前回(9/1)議事録の確認 (資料-2)  
前回議事録(松本委員担当)が承認された。
3. 事業部会(9/1)議事録案 (資料-3)  
村田委員長より、第3回事業部会の概要について報告があった。
4. 第6回理事会(10/5)議事録案 (資料-4)  
村田委員長より、第6回理事会の概要について報告があった。
5. オンデマンドWG(10/12)議事録案 (資料-5)  
渡邊幹事より、オンデマンドWG(10/12)の概要について報告があった。  
  - ・第2回オンデマンド講習会@JGSは全体的に参加人数が少なかった。
  - ・ホワイトボードによる説明やポインタの位置が分からない等の問題があるが、現状のコンテンツの修正は難しい。
  - ・新たに収録するものについては、上記問題が生じないよう講師の方々をお願いする。
  - ・法人向けのダイレクトメールは、社内のどこに届いているか分からないケースがある。
  - ・KITとの契約の見直しについて検討し、他業者の利用も同時に検討していく。
6. 図書出版作業進捗状況 (別添資料-1)  
事務局より、図書出版作業の進捗状況について報告があった。  
  - ・『実務シリーズ30 シールド工法』は2月頃の予定。
  - ・『実務シリーズ29 土の締固め』『入門シリーズ38 性能設計』は今年度は困難の見通し。
  - ・『都市の地盤と災害』は来年早々に完成予定。
  - ・『ジオテクノート16』は来年度となる。
  - ・『山留めQ&A』は完成し、11月に講習会開催予定。(既に満員)
  - ・出版～講習会の流れを編集委員に説明する。
7. 平成23年度講習会収支報告・アンケート結果(平成23年8月,9月開催) (資料-6、別添資料-2)  
各担当委員より、講習会の開催結果が報告された。
  - (1)『わかりやすい構造物基礎』講習会(担当:長屋委員)  
    - ・今回で3回目となるが、参加者は増えていることから、来年度は開催する方向で検討する。
    - ・資料はある程度改訂されており、分かりやすかった。
  - (2)『はじめて学ぶ土壌・地下水汚染』講習会(担当:喜多川委員)  
    - ・参加人数は少なかったが、満足度は高い。
  - (3)『地盤・耐震入門』講習会(担当:野末委員)  
    - ・参加人数も多く、大変好評であった。
    - ・来年度は開催時期を早める方向で検討する。
  - (4)『わかって使うFEM』講習会(担当:事務局+秦委員)  
    - ・参加人数が少なく、赤字となった。来年度は、開催時期を8月ごろで検討する。

- ・赤字の要因としては、他に比べて学生スタッフが多いことが挙げられるが、講習会の性質上必要である。
- ・西日本での開催案については、支部主催となり、本部は関与しない。

(5)その他

- ・講習会のアンケート結果は構成率の棒グラフのみとする。
- ・収支グラフの内容確認と修正を行う。

**8. オンデマンド講習会団体視聴について**

事務局より、団体視聴の会告案およびホームページ案の説明があった。 (資料-7)

**審議事項**

**1. 平成23年度講習会開催について**

(資料-8)

(1)会告案

- ・『山留めの創意工夫となるほど納得Q&A』は講義時間およびCPDの変更を行った。すでに定員に達しており、募集は締め切った。会場の変更は行わない。
- ・『地盤に関する解析技術(個別要素法)』は事前にメールによる質問を受け付ける。
- ・『特殊土の基本的性質』は講義時間を1コマ60分に変更した。定員は60名とする。
- ・『地盤の地震応答解析入門』はテキスト代を加算して会費を修正する。
- ・『地盤の動的解析-基礎理論から応用まで-』は1月～2月で日程調整中。
- ・『災害廃棄物と放射能汚染土壌の処理・処分』は講演会形式とし、会場を別途おさえる。

(2)一覧表

- ・『模型実験入門』は実習ではなく、講義形式とする。前任の伊藤委員と相談の上、進める。
- ・『基礎構造物の信頼性設計』『トラブルから何を学んだか』『地盤災害の復旧事例』は担当委員に進捗状況を事務局から確認する。
- ・『土を固める原理と応用』は2月開催で日程調整中。
- ・『シールド工法』は2月開催予定で調整中。
- ・『宅地地盤の耐震技術』は開催の可否を含めて検討する。
- ・『地山補強土工法設計・施工マニュアル』は年度末開催で検討する。

**2. 平成24年度講習会予算案について**

- ・『海外工事と国際協力』は講演会とする。
- ・『既設構造物直下の液状化対策工法』は続編のみ開催とする。
- ・『三軸圧縮試験実技』は定員12名で調整中。新たに担当委員を松本委員とする。
- ・事務局ら予算案の説明があり、了承された。
- ・来年度の新規講習会の提案を次回募りたい。

**3. 地盤工学会誌会告ページについて**

- ・編集費用削減のため、会告ページを減らし、ホームページに掲載する方向で検討する。

**4. その他**

- ・コース制WGを11月に開催する。

**5. 事業部会への報告・審議事項**

- ・上記報告事項5、7、および審議事項1、2、3

次回委員会開催日 平成23年12月19日(月) PM14:00～17:00 於:地盤工学会3階中会議室

以上